

臨床利用

教授 大浦彦吉
助教授 日合奨
助手 横澤隆子
助手 長澤哲郎

◆ 原 著

1) Yokozawa T., Oura H., Zheng P. D., Fukase M., Koizumi F. and Kanaoka M.: Metabolic effects of dietary purine and pyrimidine bases in rats. *Agric. Biol. Chem.* **47**: 1297-1304, 1983.

2) Yokozawa T., Zheng P. D. and Oura H.: Experimental renal failure rats induced by adenine. —Evaluation of free amino acids, ammonia nitrogen and guanidino compound levels—. *Agric. Biol. Chem.* **47**: 2341-2348, 1983.

3) Yokozawa T., Zheng P. D., Oura H., Fukase M., Koizumi F. and Nishioka I.: Effect of extract from *Rhei Rhizoma* on adenine-induced renal failure in rats. *Chem. Pharm. Bull.* **31**: 2762-2768, 1983.

4) Hiai S., Yokoyama H., Oura H. and Kawashima Y.: Evaluation of corticosterone secretion-inducing activities of ginsenosides and their prosapogenins and sapogenins. *Chem. Pharm. Bull.* **31**: 168-174, 1983.

5) Nishizawa M., Yamagishi T., Nonaka G., Nishioka I., Nagasawa T. and Oura H.: Tannins and related Compounds. XII. Isolation and Characterization of galloylglucoses from *Paeoniae Radix* and their effect on urea-nitrogen concentration in rat serum. *Chem. Pharm. Bull.* **31**: 2593-2600, 1983.

6) Shibutani S., Nagasawa T., Oura H., Nonaka G. and Nishioka I.: Mechanism of the blood urea nitrogen-decreasing activity of rhatannin from *Rhei Rhizoma* in the rat. I. *Chem. Pharm. Bull.* **31**: 2378-2385, 1983.

7) 大浦彦吉, 横澤隆子, 深瀬真之, 小泉富美朝: アデニン投与による実験的尿路結石の生成. *医学のあゆみ* **125**: 791-793, 1983.

8) 大浦彦吉, 渋谷貞也, 長澤哲郎, 西岡五夫: 絶食ラットにおける大黄ならびに rhatannin の血中尿素窒素及び尿中 3メチルヒスチジン量に及ぼす

影響. *医学のあゆみ* **126**: 837-839, 1983.

9) 鄭平東, 横澤隆子, 大浦彦吉: アデニン投与による実験的腎不全ラットに対する大黄エキスの効果 (第1報). *基礎と臨床* **17**: 3103-3108, 1983.

10) 鄭平東, 横澤隆子, 大浦彦吉: アデニン投与による実験的腎不全ラットに対する大黄エキスの効果 (第2報). *基礎と臨床* **17**: 3109-3115, 1983.

11) 大浦彦吉, 長澤哲郎, 渋谷真也, 西岡五夫, 野中源一郎, 原敬二郎: 大黄の窒素代謝に対する基礎的臨床的研究. *和漢薬シンポジウム* **16**: 19-24, 1983.

12) 日合奨, 横山弘臣, 大浦彦吉, 川島祐次: 薬用人参サポニンの化学構造と生物活性. *和漢薬シンポジウム* **16**: 25-29, 1983.

◆ 総 説

1) 大浦彦吉, 西岡五夫: 和漢薬のタンニン成分とその代謝作用—方剤から有効成分へ—. *治療学* **10**: 129-139, 1983.

2) 大浦彦吉, 横澤隆子, 長澤哲郎, 鄭平東, 渋谷真也: 大黄の生化学. *現代東洋医学* **4**: 56-61, 1983.

◆ 学会報告

1) 横澤隆子, 大浦彦吉: アデニン投与による腎障害の病態生化学的研究. 第20回日本臨床代謝学会総会, 1983, 2, 東京.

2) 大浦彦吉, 横澤隆子: アデニン投与による実験的尿路結石の研究. 第20回日本臨床代謝学会総会, 1983, 2, 東京.

3) 大浦彦吉, 横澤隆子, 鄭平東: アデニン投与による実験的腎不全病態モデル動物の作製 (I). 日本薬学会第103年会, 1983, 4, 東京.

4) 横澤隆子, 大浦彦吉, 深瀬真之, 小泉富美朝: アデニン投与による実験的尿路結石の生成 (II). 日本薬学会第103年会, 1983, 4, 東京.

5) 鄭平東, 横澤隆子, 大浦彦吉, 深瀬真之, 小泉富美朝, 西岡五夫: アデニン投与による実験的腎不全ラットに対する大黄エキスの効果 (III). 日本薬学会第103年会, 1983, 4, 東京.

6) 三瀧忠道, 井澤敬子, 横澤隆子, 大浦彦吉, 山本昌弘, 川島祐次: 薬用人参サポニン (Ginsenoside) のコレステロール代謝改善作用について. 日本薬学会第103年会, 1983, 4, 東京.

7) 小林妙子, 横澤隆子, 大浦彦吉: 薬用人参 (ginsenoside) の糖代謝酵素活性に対する影響. 日本薬学会第103年会, 1983, 4, 東京.

8) 長澤哲郎, 大浦彦吉: アミノ酸代謝に影響を及ぼす rhatannin の作用機序について. 日本薬学会

第103年会, 1983, 4, 東京.

9) 横澤隆子: アデニンによる腎不全病態モデル動物の作製と和漢薬効果の検討. 日本薬学会北陸支部第60回研究奨励講演, 1983, 7, 富山.

10) 横澤隆子, 鄭平東, 大浦彦吉, 深瀬真之, 小泉富美朝: アデニン投与による実験的腎不全モデル動物の作製. 第37回日本栄養食糧学会総会, 1983, 5, 大阪.

11) 横澤隆子, 鄭平東, 大浦彦吉, 西岡五夫: 実験的腎不全モデル動物の作製とその改善作用. 日本生化学会第56回大会, 1983, 9, 福岡.

12) 小林妙子, 横澤隆子, 大浦彦吉, 川島祐次: 薬用人参 ginsenoside の糖および脂質代謝に対する影響. 日本生化学会第56回大会, 1983, 9, 福岡.

13) 長沢哲郎, 大浦彦吉, 野中源一郎, 西岡五夫: Rhatannin の glucagon 作用の増強活性について. 日本生化学会第56回大会, 1983, 9, 福岡.

14) 横澤隆子, 鄭平東, 大浦彦吉, 西岡五夫: 実験的腎不全動物に対する大黃エキスの効果. 第17回和漢薬シンポジウム, 1983, 9, 富山.

15) 三瀧忠道, 井澤敬子, 横澤隆子, 大浦彦吉, 山本昌弘, 川島祐次: 薬用人参サポニン (Ginsenoside) のコレステロール代謝改善作用について. 第17回和漢薬シンポジウム, 1983, 9, 富山.

16) 横澤隆子, 鄭平東, 大浦彦吉, 小泉富美朝: アデニン投与による実験的腎不全ラットの作製. 第26回日本腎臓学会総会, 1983, 10, 京都.

17) 横澤隆子, 大浦彦吉, 小泉富美朝: アデニン投与による実験的腎不全ラットの作製. 疾患モデル動物の開発と利用研究会, 1983, 11, 大阪.

18) 矢原正治, 里城まゆみ, 西岡五夫, 長澤哲郎, 大浦彦吉: 黄連のフェノールについて(1). 日本生薬学会第30年会, 1983, 10, 徳島.

19) 日合奨, 横山弘臣, 大浦彦吉, 笹山雄一, 小黒千足: サポニンその他薬物による副腎肥大作用と萎縮防止作用の機序. 日本薬学会第103年会, 1983, 4, 東京.

病 態 生 化 学

教 授 荻 田 善 一
助 教 授 中 嶋 松 一
助 手 丸 山 由 紀 子
文 部 技 官 林 和 子

◆ 著 書

1) 荻田善一: 哺乳動物の発生, 「分子生物学読

本」渡辺 格, 松原謙一編, 187-192, 日本評論社, 1983.

2) 中嶋松一: 免疫グロブリン遺伝子, 「免疫学」小山, 大沢編, 35-55, 南江堂, 1983.

3) 病態生化学部門一同: 「先天性代謝異常症スクリーニングマニュアル I」, 1-74, 1983.

4) 熊谷 朗, 荻田善一, 安倍政利, 金谷高志, 岩橋寛治, 奥井信治: 「証と方剤ハンドブック」熊谷 朗, 荻田善一監修 医歯薬出版, 1983.

◆ 原 著

1) Yamazaki H., Nishiguchi K., Miyamoto R., Ogita, Z.-I. and Nakanishi S.: Activity and Electrophoretic profiles of liver aldehyde dehydrogenases from mice of inbred strains with different alcohol preference. *Int. J. Biochem.* **15**: 179-184, 1983.

2) Nakashima S., Kamikawa H. and Ogita Z.-I.: Isoelectric focusing of the inbred mouse antibody to bacterial α -amylase. *J. Biochem.* **94**: 1723-1730, 1983.

3) 上村 清, 丸山由紀子: 数種殺虫剤に対するコガタイエカ幼虫の感受性について. *衛生動物* **34**: 33-37, 1983.

4) 磯部正治, 荻田善一: 二次元電気泳動法によるマウス睪由来プロテアーゼ・サイモーゲンの等電点決定法. *生物物理化学* **27**: 341-345, 1983

◆ 総 説

1) 荻田善一: 薬理作用と遺伝. *日本医事新報* **3055**: 142-143, 1983.

2) 久保喜一, 荻田善一: ジャコウ類似生薬の開発研究. *現代東洋医学* **4**: 81-84, 1983.

3) 荻田善一: 微小試料による遺伝疾患の解析と診断. *今月のニュードラッグ* **12**: 32-44, 1983.

◆ そ の 他

1) 柴田 太, 荻田善一: 修飾ゼラチンゲルによる電気浸透現象の解析. *生物物理化学* **27**: 52, 1983.

2) 中嶋松一, 上川 浩, 荻田善一: 近交系マウス抗 B α A 抗体の等電点電気泳動. *生化学* **55**: 700, 1983.

3) 磯部正治, 荻田善一: 二次元電気泳動法によるマウス睪由来プロテアーゼ・サイモーゲンの等電点決定法. *生化学* **55**: 1045, 1983.

4) 太口育彦, 荻田善一: アルブミン産生細胞におよぼす異種細胞質の影響. *生化学* **55**: 948, 1983.

5) 丸山由紀子, 荻田善一: 薬剤抵抗性獲得機構